

美味しいだけじゃない

「かまぼこ」の輸出について

神戸港の全国シェア

数量は3年連続日本一、金額は2年ぶり日本一

神戸税関
私のまちの NATIONAL GATE

ぷりぷりっ、しこしこっとした歯応えが魅力のかまぼこですが、この食感のことを業界では「足（アシ）」と呼ぶそうです。かまぼこは海の魚から作られています。使う魚によってそれぞれ違ったアシの良さが出ます。古くはナマズや鯉など淡水魚で作られていたそうで、一体どんなアシで、どんな味だったのか興味が湧いてきます。

「かまぼこ」は板付きのものが想像されますが、ちくわ、さつま揚げ、カニ風味かまぼこといった練り製品の総称でもあります。かまぼこは、太古の昔からあった魚肉を使った調理法で、その昔（西暦200年頃）神功（じんぐう）皇后が神戸の地で銚子の先に魚のすり身を塗り付けて焼いて食べたのが起源だという話も一説に伝えられています。

日本の伝統的文化である「和食」が、昨年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。そこで、数ある和食の中から今回は、神戸がひょっとすると発祥の地かもしれない「かまぼこ」の輸出について取り上げました。

注）本稿の「かまぼこ」は、輸出統計品目番号1604.20-190の「かまぼこ、その他のねり製品」を指します。



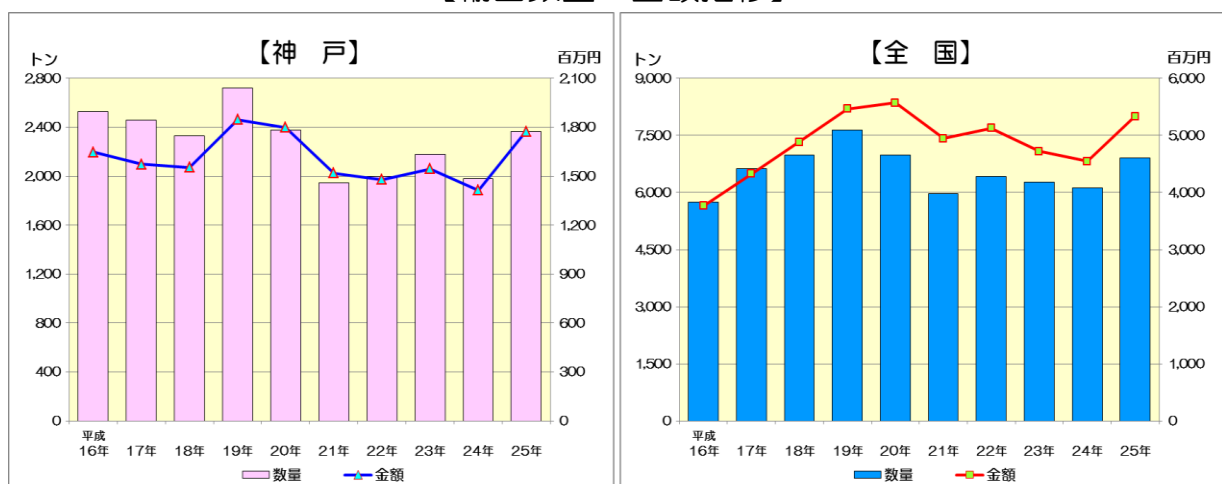
1. 輸出の動向

平成25年の神戸港は、数量2,367トン（前年比119.4%）、金額17億75百万円（同125.5%）で、全国は数量6,917トン（同112.9%）、金額53億34百万円（同117.3%）が輸出され、数量、金額とも日本一です。

下のグラフをみると、リーマン・ショック（平成20年）の影響により平成21年に大きく減少し、その後も神戸港、全国ともに伸び悩んでいる状況でしたが、昨年は円安に支えられ金額ベースでは神戸港、全国ともにリーマン・ショック前にほぼ戻っています。

また、近年水産物の価格が総じて上昇していることや日本製のかまぼこが高級化していることなどから輸出単価が上がってきています。

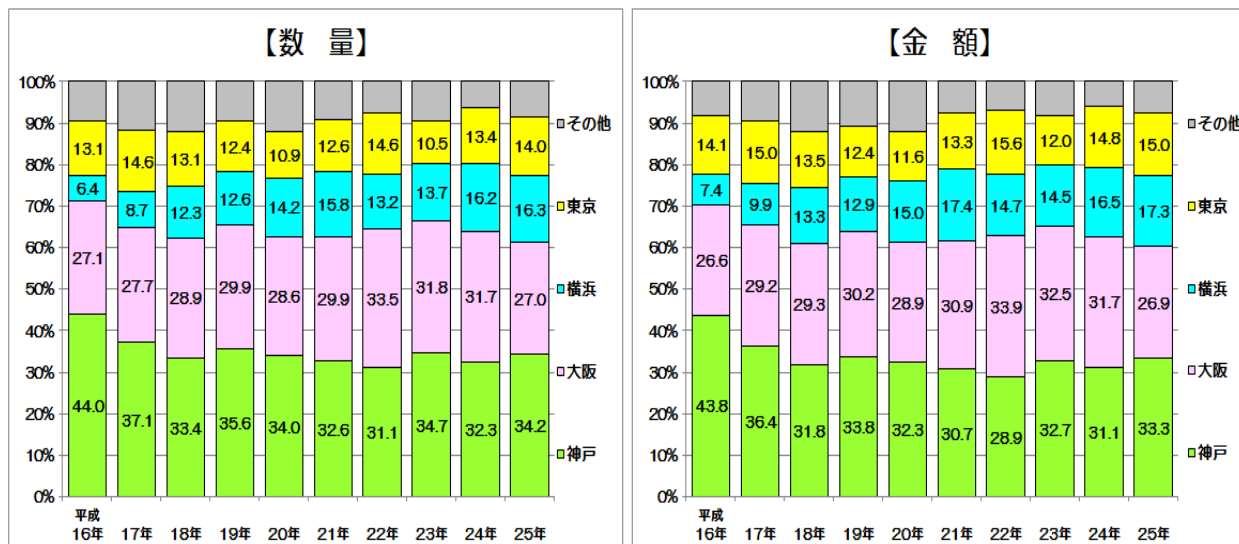
【輸出数量・金額推移】



2. 港別の動向

平成25年の神戸港の全国シェアは、数量ベースでは34.2%、金額ベースでは33.3%を占め、いずれも第1位となっています。多くは商社扱いですが、神戸港近隣に製造工場があることから神戸港が利用されています。大阪港を含めると6割以上が両港から海外へ輸出されています。近年横浜港のシェアが、数量、金額ともに拡大してきていますが、これは同港で米国向けの取扱いが増大しているためです。

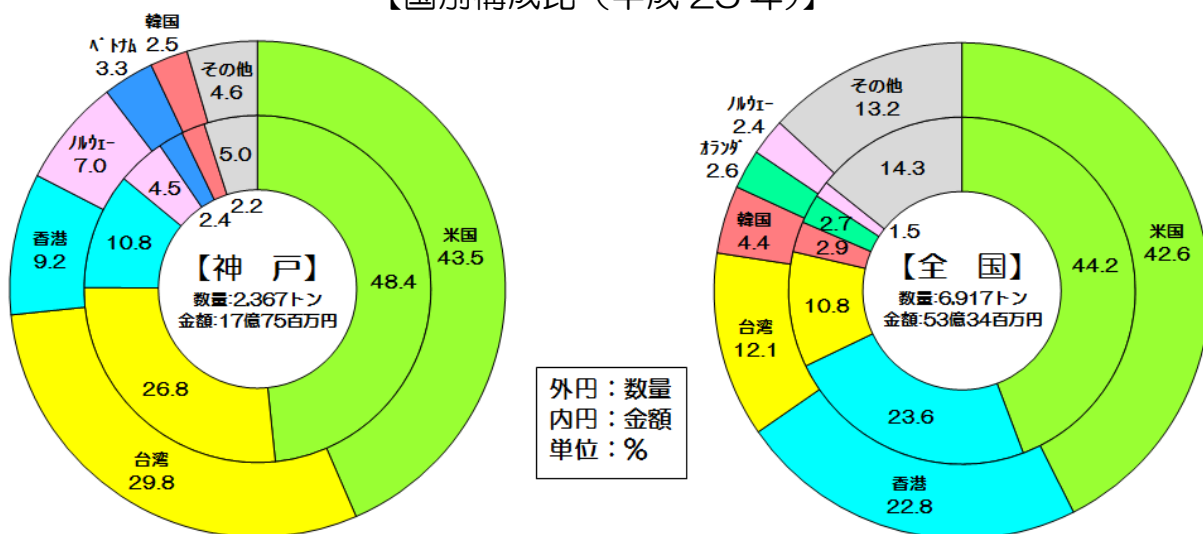
【港別構成比】



3. 輸出相手国・地域の動向

平成25年の神戸港の主な輸出相手国・地域は、在留邦人が多く、日本食レストランが多い米国向けが数量、金額とも第1位となっています。第2位が台湾、第3位が香港と続き、これら3カ国で8割を占めます。全国でも第1位は米国向けで、次いで香港、台湾となっており、世界32カ国（神戸港からは14カ国）に輸出されています。

【国別構成比（平成25年）】



業界によると、輸出されたかまぼこはスーパーや百貨店で販売され、米国では主に在留邦人に消費されており、台湾や香港では現地の人や旅行客が消費する割合も多くなっています。今では海外での現地生産が進んでいるかまぼこですが、日本製のかまぼこは見た目がきれいで味も良いため世界でNO.1のブランド力を持っています。

たとえば、富士山や植物などが映し込まれた色鮮やかな板かまぼこ(※)は日本以外の国では真似できません。また、同じ鍋文化を持つアジアの国々では、ちくわや揚げかまぼこが現地のレストランで多く消費されています。また、台湾では、日本と同じスタイルでおでんがコンビニエンスストアで販売されています。

4. おわりに

かまぼこは昭和 34 年にスケソウダラの冷凍すり身化技術が開発されると、大量生産が可能となり、加えて包装技術が向上したことなどによって手軽で身近な食品として全国の食卓に並ぶようになりました。

昭和 50 年代には画期的商品、本物のカニそっくりのカニ風味かまぼこが登場します。日本での人気以上に海外で、特に米国で需要が高まっていきましたが、その後海外生産が進み輸出は徐々に縮小していきました。近年かまぼこの輸出は、海外の和食（魚食）ブームによってリーマン・ショックまでは順調に推移していたところでした。

国内ではかつてほどの消費量はないものの、主流の白身魚のほかに、ニッチな分野としてアジやサバなどの赤身魚を使ったかまぼこも味わい深く、特に栄養価が評価されて、スーパーで見かけることがまだあまりないのですが消費が拡大しつつあるそうです。また医療食としてのかまぼこも製造されていて、子供から大人まで、高齢化社会にも対応できる優良な食品となっています。

業界では、為替変動や燃料費の高騰、原料となる魚の価格上昇といった価格面での苦労を抱えているとのことですが、日本のかまぼこの美味しさをもっと知ってもらいたいとの思いが強く、最近では動物やアニメのキャラクターなどを模した楽しい商品(※)が次々と登場するなど新商品の開発に力を入れており、販路を拡大すればまだまだ需要があると思っています。

美味しいだけじゃない、栄養があって、食べる人を楽しくさせるかまぼこ。日本の伝統的食文化が世界に広がっています。

(※)これらのかまぼこを、「切り出しかまぼこ」と呼びます。



本資料を転載するときは「神戸税関」の資料による旨を注記して下さい。

なお、本資料のお問い合わせは、

神戸税関調査部調査統計課

TEL (078) 333-3065 またはメールで kobe-toukei@customs.go.jp まで
「神戸税関ホームページ」のアドレス <http://www.customs.go.jp/kobe/>

数値表

* 輸出実績推移

年	神戸港							全国				
	数量(トン)			金額(百万円)			通関単価 円/KG	数量(トン)		金額(百万円)		通関単価 円/KG
	前年比	全国比		前年比	全国比			前年比		前年比		
平成16年	2,528	142.4%	44.0%	1,648	147.3%	43.8%	651.8	5,752	106.1%	3,765	104.4%	654.4
平成17年	2,459	97.3%	37.1%	1,575	95.6%	36.4%	640.5	6,623	115.1%	4,328	115.0%	653.4
平成18年	2,331	94.8%	33.4%	1,555	98.8%	31.8%	667.2	6,983	105.4%	4,887	112.9%	699.7
平成19年	2,720	116.7%	35.6%	1,848	118.8%	33.8%	679.2	7,638	109.4%	5,466	111.9%	715.6
平成20年	2,375	87.3%	34.0%	1,800	97.4%	32.3%	757.6	6,981	91.4%	5,574	102.0%	798.4
平成21年	1,944	81.9%	32.6%	1,520	84.4%	30.7%	781.6	5,969	85.5%	4,948	88.8%	828.9
平成22年	1,998	102.7%	31.1%	1,480	97.4%	28.9%	741.0	6,425	107.6%	5,129	103.7%	798.3
平成23年	2,176	108.9%	34.7%	1,545	104.4%	32.7%	710.1	6,279	97.7%	4,721	92.0%	751.8
平成24年	1,982	91.1%	32.3%	1,414	91.5%	31.1%	713.6	6,126	97.6%	4,549	96.3%	742.5
平成25年	2,367	119.4%	34.2%	1,775	125.5%	33.3%	749.9	6,917	112.9%	5,334	117.3%	771.1

* 港別輸出実績推移

数量(トン)	全国	神戸		大阪		横浜		東京		その他	
		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比	
平成16年	5,752	2,528	44.0%	1,561	27.1%	367	6.4%	756	13.1%	540	9.4%
平成17年	6,623	2,459	37.1%	1,836	27.7%	574	8.7%	968	14.6%	786	11.9%
平成18年	6,983	2,331	33.4%	2,022	28.9%	862	12.3%	917	13.1%	852	12.2%
平成19年	7,638	2,720	35.6%	2,287	29.9%	963	12.6%	948	12.4%	720	9.4%
平成20年	6,981	2,375	34.0%	1,997	28.6%	993	14.2%	764	10.9%	852	12.2%
平成21年	5,969	1,944	32.6%	1,787	29.9%	940	15.8%	751	12.6%	546	9.2%
平成22年	6,425	1,998	31.1%	2,149	33.5%	847	13.2%	941	14.6%	490	7.6%
平成23年	6,279	2,176	34.7%	1,996	31.8%	858	13.7%	661	10.5%	588	9.4%
平成24年	6,126	1,982	32.3%	1,939	31.7%	991	16.2%	824	13.4%	390	6.4%
平成25年	6,917	2,367	34.2%	1,865	27.0%	1,128	16.3%	968	14.0%	590	8.5%

金額(百万円)	全国	神戸		大阪		横浜		東京		その他	
		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比	
平成16年	3,765	1,648	43.8%	999	26.6%	279	7.4%	531	14.1%	307	8.1%
平成17年	4,328	1,575	36.4%	1,263	29.2%	428	9.9%	650	15.0%	411	9.5%
平成18年	4,887	1,555	31.8%	1,430	29.3%	649	13.3%	662	13.5%	592	12.1%
平成19年	5,466	1,848	33.8%	1,648	30.2%	708	12.9%	680	12.4%	582	10.6%
平成20年	5,574	1,800	32.3%	1,611	28.9%	836	15.0%	647	11.6%	680	12.2%
平成21年	4,948	1,520	30.7%	1,526	30.9%	860	17.4%	660	13.3%	382	7.7%
平成22年	5,129	1,480	28.9%	1,741	33.9%	755	14.7%	799	15.6%	355	6.9%
平成23年	4,721	1,545	32.7%	1,534	32.5%	687	14.5%	565	12.0%	391	8.3%
平成24年	4,549	1,414	31.1%	1,440	31.7%	750	16.5%	671	14.8%	274	6.0%
平成25年	5,334	1,775	33.3%	1,436	26.9%	922	17.3%	800	15.0%	401	7.5%

* 国別輸出実績（平成25年）

国名	数量(トン)			金額(百万円)		
	前年比	構成比		前年比	構成比	
全世界	2,367	119.4%	100.0%	1,775	125.5%	100.0%
アメリカ合衆国	1,029	138.8%	43.5%	858	149.1%	48.4%
台湾	706	106.4%	29.8%	475	103.8%	26.8%
香港	219	122.7%	9.2%	192	148.4%	10.8%
ノルウェー	167	80.5%	7.0%	80	75.1%	4.5%
ベトナム	79	252.3%	3.3%	42	240.3%	2.4%
大韓民国	58	190.1%	2.5%	39	137.5%	2.2%
その他	109	84.5%	4.6%	88	89.4%	5.0%

国名	数量(トン)			金額(百万円)		
	前年比	構成比		前年比	構成比	
全世界	6,917	112.9%	100.0%	5,334	117.3%	100.0%
アメリカ合衆国	2,944	107.7%	42.6%	2,360	114.5%	44.2%
香港	1,577	121.5%	22.8%	1,259	127.5%	23.6%
台湾	836	108.6%	12.1%	574	105.9%	10.8%
大韓民国	306	163.8%	4.4%	152	148.0%	2.9%
オランダ	177	83.8%	2.6%	146	86.4%	2.7%
ノルウェー	167	80.5%	2.4%	80	75.1%	1.5%
その他	910	126.7%	13.2%	762	131.7%	14.3%